

平成26年度 施策評価シート

作成日 平成 26 年 11 月 26 日

1 施策の概要

施策名 (節の名称)	No. 12 下水道の整備				
部章節No.	第1部 第4章 第3節	評価担当部	建設部	関連部局	-
総合計画書掲載頁	74 頁	記載責任者	平本和男		
総合計画 体 系	まちづくりの目標【部】	自然と調和した快適なまちづくり			
	施策の分類【章】	快適な生活環境の整備			
施策の目的 (基本方針)	公共下水道（污水）の適切な維持管理をはかるとともに、供用区域における下水道接続の促進など下水道事業の健全な運営につとめます。また、局地的な集中豪雨による浸水被害を未然に防止するため、計画的な雨水対策を推進します。				

2 施策を取り巻く環境

施策の現状	公共下水道（污水）については、平成22年度に事業認可区域内の施設整備が概ね完了し、供用開始もされており、今後は、施設の適正な維持管理を進めるとともに、下水道への接続率の向上を図る必要があります。 また、公共下水道（雨水）については、平成25年度末の整備率は、60.8%にとどまっており、局地的な集中豪雨による浸水被害の予防対策として、計画的な施設整備を進める必要があります。
法令・制度 の変更	特にありません。
施策の課題	公共下水道（污水）施設の適切な維持管理を進めるため、平成24年度から取り組んでいる長寿命化計画の策定と合わせ、同計画の基本構想策定にも取り組み、その基本構想を踏まえて地区ごとの優先順位を定め、計画的に改築等を進める必要があります。また、下水道接続を促進するため、未接続者の個々の原因を究明し、制度の見直しも含めた実情に適った対策を検討する必要があります。 さらには、浸水被害を未然防止するため、雨水計画の見直しや計画的な施設整備を進める必要があります。

3 施策の成果指標（基本方針を達成するため本施策に求められる成果を定量的に表記します。）

住民満足度	指標（単位）	総合計画 策定時	中間値 (26年度)	目標値 28年度	達成度
	『下水道の整備』について「満足」と感じる住民の割合	45.0 %	44.1 %	50.0 %	B

主 な 目標指標	指標（単位）	増減	総合計画 策定時	23年度	24年度	25年度	目標値 28年度	達成度
	公共下水道(污水)の接続率（％）	増	93.2	96.1	96.7	96.9	99.0	A
	公共下水道(雨水)の整備率（％）	増	60.2	60.3	61.6	61.7	62.0	A
								—

4 施策の活動指標（「3 施策の成果指標」の目的を達成するため本施策において町が行う活動内容等を定量的に表記します。）

主 な 活動指標	指標（単位）	増減	総合計画 策定時	23年度	24年度	25年度	目標値 28年度	達成度
	公共下水道（污水）の整備率（％）	増	100	100	100	100	100	A
								—

5 総合計画の進捗状況調査に基づく基本施策の評価

基本施策		評価結果	基本施策		評価結果
No.	名称		No.	名称	
1	汚水対策の推進	B			
2	雨水対策の推進	B			

6 総合評価

成果指標評価	B	活動指標評価	A	進捗状況調査結果	B
--------	---	--------	---	----------	---

総合評価	B (自動判定)	➡ 構成事務事業の見直しが必要な施策です。
	総合評価結果に対する分析（施策全体について、進捗状況、有効性・効率性の観点を踏まえて分析してください。）	
	・公共下水道は、自然と調和した快適なまちづくりの観点から、快適な住環境の確保や河川の水質保全に不可欠の施設であり、平成25年度末現在、汚水整備率はほぼ100%、雨水整備率は60.8%となっている。 ・厳しい財政状況の中で、汚水私費雨水公費の原則に基づき、受益者に適切な負担を求めることで妥当性が確保されており、また、住民満足度調査の結果は基準年度より下がったものの、主な目標指標である汚水接続率や雨水整備率は上がっており、今後、進捗状況の評価が低い事業について改善を図ることで、さらに施策の有効性が高まると考えられる。 ・下水道使用料の徴収経費が年々減少傾向にあることや現在策定に取り組んでいる長寿命化計画や長寿命化計画基本構想を踏まえた優先順位により今後改築等を進めることから、適正かつ効率的な施設の維持管理に結びつき、効率性も高いものとなっていると考えている。	

7 今後の方向性

方向性	☐ 現状維持 ☒ 一部見直し ☐ 大幅な見直し ☐ 新たな取り組みや事業を追加 ☐ その他
改善案などの内容	・水洗化の促進については、今後、下水道未接続者の原因究明を進め、制度の見直しも含めた個々の実状に適った対策を検討するとともに、使用料の収入確保については、接続率の向上とあわせ、使用料を見直し、適正な時期での料金改定を実施することで、安定財源の確保に努めてまいりたい。 ・都市排水路の維持管理については、管理対象の面積が広く単年度では対応できないことから、現状把握に努め、効果的な浚渫等を計画的に実施するとともに、雨水排水路等の整備については、緊急性・重要性を踏まえ長期的な整備計画を立て、雨水整備事業の計画的な推進に取り組んでまいりたい。 ・今後、汚水管渠や施設の老朽化に伴い増加が見込まれる維持管理費の平準化を図るため、長寿命化計画や同基本構想の策定を進め、緊急性・重要性を踏まえた整備計画を立て、財政状況を勘案しながら、計画的な雨水整備事業の推進に取り組んでまいりたい。

8 庁内行政評価委員会コメント

※主管部等では記入しないでください。

評価・方向性	所管部の方向性のとおり
--------	-------------

9 総合計画の進捗状況調査における取組の方向性の評価（事務事業の評価）

[illegible]